

令和3年度 岐阜県立飛騨高山高等学校全日制アンケート結果

生徒用（7月実施）

各項目について、A～Eの該当する覧に○印をつけてください。

- A よくあてはまる
- B ややあてはまる
- C あまりあてはまらない
- D まったくあてはまらない
- E わからない

対象	人数	回収数	回収率
各組10名	260	258	99.2%

※ABを肯定的評価、CDを否定的評価とする。番号は、本年度の質問項目の番号である。

<肯定的評価ABの上位項目>

番号	項目	本年度	昨年度
2	本校に入学できてよかったと思っている。	97%	98%
6	本校は、通信やホームページ等を用いて、様々な情報を速やかに伝えている。	97%	80%
4	本校からの連絡文書は、保護者に届けている。	95%	84%
32	本校では、携帯電話やインターネット上使用上の注意やマナーの指導が行われている。	95%	97%
10	授業の教え方や説明が分かりやすい先生が多い。	93%	97%
36	隣同士またはグループでの意見交流や、仲間の意見を聞いて考え合う授業をとおして、自主的・主体的に学ぶことができている。	93%	96%
・今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策や豪雨災害による休校が相次ぎ、アンケートを実施した時点では授業日がわずか30日程度であった。その影響もあり、Eの「わからない」を選択した生徒の割合が高く（昨年3.6%、今年11.1%）、学校評価アンケートの結果に大きな影響を与えている。 ・番号4、6の評価が伸びたのは、休校中の課題の郵送や一斉メール配信を多用したことによるものである。			

<否定的評価CDの上位項目>

番号	項目	本年度	昨年度
5	家庭で学校の話をしている。	17%	18%
31	本校では、キャンパスや学科をこえた交流（学習・行事・部活動）が活発に行われている。	14%	9%
17	総合的な学習の時間（普通科等）・課題研究（専門科）の内容は自分にとって有意義である。	11%	2%
27	本校では、生徒会活動が活発である。	10%	8%
15	本校の先生は、授業や家庭学習への支援等を通して、一人一人の能力に応じた指導を行っている。	9%	4%
否定的評価における昨年度との違い ・5以外については、休校により授業を受けられなかったことが原因だと考えられる。			

肯定的評価ABの比較的低い（85%未満の）項目

番号	項目	本年度	昨年度
13	本校の先生は、働き方改革に努めている	49%	
27	本校では、生徒会活動が活発である。	65%	83%
31	本校では、キャンパスや学科をこえた交流（学習・行事・部活動）が活発に行われている。	71%	86%
30	本校では、ボランティア活動の大切さを教えると同時にその機会を提供している。	75%	85%
17	総合的な学習の時間（普通科等）・課題研究（専門科）の内容は自分にとって有意義である。	77%	94%
・昨年度はすべての項目において、肯定的評価ABが80%を下回る項目はなかった。			